

- 問1 大分県の北部において、冬の時期に降水量（降雪）が多くなる傾向がある理由を、地形と風の観点から説明したものととして適切なものはどれか。
（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本海側から吹き込む乾燥した季節風が、県の中央部にある高い山地を越える際に、瀬戸内海からの水蒸気を吸収して雨を降らせるため。 | 2. 太平洋から吹く温暖な季節風が、南部から北上する際になだらかな山地を越え、その過程で冷却されて北部に雪をもたらすため。 | 3. 北からの湿った季節風が、県の中央部を東西に走るなだらかな山地にぶつかり、上昇気流が発生して雲が発達するため。 | 4. 四国山地を越えてきた湿った季節風が、県の中央部にある盆地状の地形に停滞し、冬の低温によって雪へと変化するため。 |
|---|---|---|--|
- 問2 ある統計資料において、横軸に都道府県の面積を、縦軸に総人口をとった散布図を作成しました。この資料に含まれる大阪府、兵庫県、宮崎県、香川県の4つのデータのうち、宮崎県を示すデータの特徴として正しいものはどれですか。
（2025年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 4つのデータの中で、人口が極めて多く、面積が最も狭い位置に示されている。 | 2. 4つのデータの中で、面積と人口の数値が共に大きく、バランスが良い位置に示されている。 | 3. 4つのデータの中で、人口も面積も最小に近く、グラフの原点（左下）に最も近い位置に示されている。 | 4. 4つのデータの中で、人口が比較的少なく、面積が広い位置に示されている。 |
|---|---|--|--|
- 問3 九州地方の産業構造を分析した際、農業産出額における「畜産」の割合が特に高い県と、地域内で最大の「工業出荷額」を記録している県の名称として適切なものはどれですか。
（2023年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 畜産の割合が高いのが佐賀県、工業出荷額が最大なのが福岡県 | 2. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが佐賀県 | 3. 畜産の割合が高いのが福岡県、工業出荷額が最大なのが宮崎県 | 4. 畜産の割合が高いのが宮崎県、工業出荷額が最大なのが福岡県 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問4 九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の火山の巨大噴火による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なってできた広大な台地を何と呼びますか。
（2023年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|--------|---------|
| 1. 扇状地 | 2. シラス台地 | 3. 干拓地 | 4. カルデラ |
|--------|----------|--------|---------|
- 問5 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。
（2017年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため | 2. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため | 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いため、稲の成長が著しく遅れるため | 4. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕することができないため |
|--------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問6 鹿児島県の南、大隅諸島に属する南北に細長い形状をした島に関する説明として、歴史的な出来事と現代の状況を正しく組み合わせたものはどれですか。
（2018年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 古くから朝鮮半島との貿易の中継地として栄え、現在は大陸からの渡り鳥を観測するための大規模な自然保護区となっている。 | 2. 16世紀にキリスト教が初めて伝わった地であり、現在は世界自然遺産に登録された屋久杉の原生林を保護する活動が盛んに行われている。 | 3. 1543年にポルトガル人を乗せた船が漂着して鉄砲が伝来し、現在は国内最大級のロケット発射場である宇宙センターが設置されている。 | 4. 琉球王国の支配下で独自の文化を育み、現在はサトウキビ栽培とマングローフ林を活用したエコツーリズムの拠点となっている。 |
|--|--|--|---|
- 問7 鹿児島県において、6月から7月にかけて降水量が著しく多くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。
（2021年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 梅雨前線がこの地域に停滞しやすく、南方からの暖かく湿った空気が供給されやすいため | 2. シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山脈にぶつかり上昇気流を発生させるため | 3. 年間を通じて安定した偏西風の影響を受け、瀬戸内海からの湿った空気が継続的に流れ込むため | 4. 夏に小笠原高気圧が後退し、冷涼な北東の風である「やませ」が吹き込むことで大気が不安定になるため |
|---|---|--|--|
- 問8 九州地方南部の鹿児島県を中心に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く降り積もって形成された台地を何と呼びますか。
（2015年 兵庫県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|--------|------------|----------|
| 1. カルデラ | 2. 泥炭地 | 3. フォッサマグナ | 4. シラス台地 |
|---------|--------|------------|----------|
- 問9 宮崎県の農業統計において、2020年の品目別生産量で全国1位となっている作物はどれですか。この作物は宮崎平野を中心に盛んに栽培されています。
（2023年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|-------|
| 1. さつまいも | 2. きゅうり | 3. てんさい | 4. ねぎ |
|----------|---------|---------|-------|
- 問10 鹿児島県において、豚の飼育頭数が全国第一位となるなど、畜産業が地域を代表する産業へと発展した背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものはどれか。
（2019年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 火山灰層が厚く堆積したシラス台地は、水はけが良すぎて稲作に不向きであったため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広い土地を必要とする家畜の飼育が選ばれた。 | 2. 海岸沿いに広がる砂丘地帯を大規模に開発し、塩害に強い特性を持つ家畜を専門的に育てるための施設が集中した。 | 3. 水はけの悪い低湿地が広がっているため、土地改良を繰り返すことで牧草の生育を促し、乳牛を育てる酪農を中心とした産業構造へと変化した。 | 4. 険しい山地が多く平地が限られているため、山の斜面を切り開いた段々畑を作り、そこで得られた飼料を用いて小規模な畜産業が行われるようになった。 |
|--|---|--|--|
- 問11 九州南東部の宮崎県において、冬でも雪がほとんど降らない温暖な気候を活かし、他の地域よりも野菜の成長を早めて出荷時期をずらすことで、高い利益を得るために行われている栽培方法を何というか。
（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 近郊農業 | 2. 有機農業 | 3. 促成栽培 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 九州地方の各県の発電構成を比較した統計において、火力発電量が約13,500百万kWhと非常に多く、水力や風力も利用されている一方で、特定の集計区分によって地熱発電の数値が「0」と示されている県はどこですか。
（2026年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 福島県 | 2. 鹿児島県 | 3. 大分県 | 4. 秋田県 |
|--------|---------|--------|--------|
- 問13 北九州工業地域を中心とする福岡県の工業について、2019年の統計資料における製造品出荷額等の内訳を確認したところ、2つの特定の産業が高い割合を占めていることがわかりました。古くからこの地域で盛んな鉄鋼などの産業と、近年、自動車工場の進出により出荷額を大きく伸ばしている産業の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。
（2023年 福島県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1. 化学工業と、加工食品などの食料品工業 | 2. 窯業・土石製品製造業と、電子部品・デバイス工業 | 3. 金属工業と、輸送用機械などの機械工業 | 4. 繊維工業と、パルプ・紙・紙加工品製造業 |
|-----------------------|----------------------------|-----------------------|------------------------|